



水の犠牲者

交通事故の ほ ほ 2倍

6～8月……とくにご注意を

毎年、6月を迎えると、子供の水の事故が増えはじめ、夏休みを含む6～8月の3か月間は、1年のうちで水による犠牲者が最も多い時期です。

昨年は6～8月中に、海や川、池、あるいは用水堀などで亡くなったり行方不明になった子供（中学生以下）は、全国で510人を数えています。

同じ時期に交通事故で亡くなった子供276人に比べますと、ほぼ2倍の犠牲者が出ているのです。

この時期はとくに水遊びをすることが多いので、ふだんから子供の遊び場所を知っておき、危険な場所には子供たちだけで行かせないようにするなど、保護者の配慮が必要です。



昭和55年 6月号 第348号

発行/東郷町役場・編集/企画財政課

立ちよりにわが驚きぬ若竹の

葉末は露の玉ばかりなる

牧 水



国と郷土を考える

国勢調査のはなし

国勢調査 明治29年
このように、初めて「国勢調査」という言葉が登場した

国勢の勢は 情勢の勢



国勢調査の「国勢」を、「国の勢い」あるいは「国の勢力」というふうに解釈している人が、意外に多いといわれます。しかし、それは誤りです。国勢調査という言葉は、もともと英語のセンサス(census)の訳語ですが、これもすんなり決まったわけではなく、これに落ちつくまでには、さまざまな経過をたどりました。年代順に見てみましょう。

国勢大調査 (または国勢調査) 明治26年
民勢大調査 明治29年

現在人別調査 明治15年
人口大調査 明治7年
人口取調之法 明治6年

のは明治二十六年で、ある学会誌に発表された個人の論文に見られるものです。一方、半ば公式に使われた最初は明治二十九年で、四人の衆議院議員が提出した「国勢調査執行建議案」がそれです。その後も「民生調査」「人口

調査」など、いろいろ用いられましたが、明治三十五年、国勢調査に関する法律が成立して、明治六年以来三十年間にわたる「曲折」に終止符を打ったのです。さて、国勢の意味ですが、さきあげた国勢調査執行建議案には、次のように書かれています。「国勢調査は全国人民の現状即(すなわ)ち、男女、年齢、職業、身上の有様——中略——につき精細に現実の状況を調査するものにして一たびこの調査を行うときは全国的情勢これを掌上(しようじょう)に見るを得べし」この建議案から、国勢とは、国の勢いでも国の勢力でもなく、正しくは国の情勢であることがわかります。また、なかには国勢調査を「こくせい調査」とよぶ人もいるようです。しかし、これも、情勢のせいですから「こくせい調査」が正しく、多勢(たぜい、おおぜい)のせいではないということです。

自転車、バイクを安全に乗ろう



安全な乗り方

バイク編

バイクも自転車同様、交差点では一時停止をして安全を確認しましょう。五十三年中のバイクの死亡事故のうち、約四割が交差点で起きています。

交差点では一時停止を

法定速度「時速30キロ」を厳守しよう

道路の左側、つまり路肩には意外な「邪魔物」があります。砂利や水たまり、くぼみなどがそれで、速度を出しすぎているとスリップの原因になるなど、ハンドル操作を誤るものになります。バイクを運転するときには、法定速度の30キロを守り、安全走行に心がけましょう。

ヘルメットを正しくかぶろう

バイクによる死亡事故の七十二%は、頭部損傷が原因です。頭部を事故から守るために、ヘルメットはJISマークやS(安全)マークのついたものをかぶり、あごひもをきちんと結びましょう。



自賠責保険に加入しましょう

バイクは自動車同様に、自動車損害賠償責任保険の加入が義務づけられています。万一の場合に備えて必ず加入しましょう。無保険で走ると、6か月以下の懲役または五万円以下の罰金、さらに運転免許の違反点数は六点となり、免許停止処分になります。

運転テクニックを身につけよう

バイクを安全に運転するためには、正しい乗車姿勢とバランスのとおり方、正しい止まり方、カーブでの安全な走り方など基本的な運転テクニックを身につけることが大切です。警察や交通安全協会が行う「バイク教室」などに積極的に参加しましょう。

牧水先生の生涯

18

結婚二か月後の七月に「父危篤」の電報に接したが、帰る旅費がなく第五歌集「死か芸術か」の原稿をまとめて、それで何がしかの金を得て帰りました。父の病氣は中風で、察したほどのこともなく、一まず落ちてしまいました。先生は元來親しいですがこの一、二年はほとんど音信不通の不幸が続いていましたので、父の死目に逢えるかどうかひどく心配しつつ帰って来たので、それだけに安心もしましたが、しかし故郷に待っていたのは決して父の病氣ばかりではありませんでした。帰省して数日後友に送った「はがき」に「父は幸に日増しにいい様だ。然しこれもよほど永びきさうだ。それこれでももう郷里を出られそうにない、自殺でもする気になって半分はやけ半分は孝行気を出して、この二、三年日向の人間になっていようかとも思う、然しなんとという苦しいことだろうー(中略)



塩月儀市

父の病氣はそっちのけで、親族会議が開かるやら何やら、大騒ぎさ、夜を日についで罵倒には、いさかかへきえきしている。然しあの善人の父や母を眼のあたりに見ると、さすがに強い心も越しかねるのだ、実にせつない」と記しています。親族会議では小学校が役場に勤めて家計をたてるように強く要請され、先生も職を求めて延岡、宮崎辺まで歩き廻りました。が適当な就職口は見つかりませんでした。先生は多くは二階の北向のうす暗い部屋の机に向って本を読んだり、ぼんやり物を考えて暮らしていましたが、時には現在歌碑になっている裏山の巨石の上のぼって真正面に見える尾鈴山の連峰をじっと眺めていることもあれば、その石の上に寝ころんで瞑想にふけりました。こうした心の悩みの中の作歌「ふるさとの尾鈴の山のかなしさよ秋もかすみのたなびきてをり」であります。

駐在所だより

警察官募集について

今年も警察官の募集があります。特に大学卒の採用が多くなっております。

- ▽A 大学卒 90名
- ▽第一次試験 8月3日
- ▽受付期間 6月2日～6月21日
- ▽B 高校卒 25名
- ▽第一次試験 10月26日
- ▽受付期間 9月1日～9月20日

となっており早目に応募して下さい。なお、詳細については、警察署が駐在所にお問い合わせ下さい。

スリップ・転落事故を防ごう

毎年、梅雨期にはこの種の重大事故が多く発生しています。次のことに特に注意して下さい。

- 1、ぬれた舗装道路では、速度の出しすぎをしないよう、又、車間距離を十分とること。
- 2、山手の道路などは、雨のため路肩が軟くなっているため、欠陥転落という事故も多くなります。
- 3、雨の日は視界がせまくなり、又、スリップが長くなるなど、天気の良い日は考えられない事故となります。

雨の多い季節ですので、安全運転をして下さい。

暴走事故はなぜ起るのか

五月十九日、日南で発生した、元暴走族グループによる、三名死亡、一名重傷の事故は私たちをびっくりさせました。暴走する青少年と個別に接する時は、一般の若者と少しも変わったところは見えませんが、みんな良い青年なのに、しかし、一度自動車という密室に入ると自分だけの世界で自分が全てを支配しているという錯覚におちいるのだろうか、人の迷惑など全々無視する行為にあえて出て、また、人が見物でもしているとめちやくちやな行動に移って行くのです。警察権力に対する報復などと勝手な言葉をならべていますがそれは、世間に対する甘えや、又自分中心で、自分の中の何か分らないぬもやを一度に発散させようとする行為が、自動車という機械を使ってその行動に出ただけのもので、このような青少年がなぜできるのだろうか。それには、いろんな状態、条件が重なり合っているのかも知れないが、こんな青少年を育てた親に責任が有るように思えてならない。教育が、社会が、友達が悪いのではない。家庭での親子の対話がないのが原因だと思われてならない。

おしらせ



高性能農業機械士

研修会のお知らせ

近年の農業機械化の進展は、大型機械の導入に変わりつつあり、農業経営で生産性の向上と適正な農業機械の導入及び導入された農業機械並に農作業の安全を図るために研修会が実施されます。

この研修は農業者及び農業青年を対象に農業機械技能二級研修で、受講後に学科と実技の資格試験が実施され、合格すれば二級機械士に認定されます。

農業機械士の資格を取得していなければ「高性能農業機械導入基本方針の運用」に基づき、各種の補助事業及び制度資金により導入する場合に導入が出来ません。

受講の条件として農業用トラクター(乗用型)の実務経験が三年以上あり、大型特殊免許の取得者又は農業用トラクター(乗用型)の実務五年以上あり、小型特殊自動車を行ける免許の取得者であることです。

▽会場 日向農協会館
▽日時 七月中旬(未定)
▽申し込み 七月五日までに東郷町役場農林課まで
(申込書は農林課に準備してあります)



まちのうごき

人口 6,626人 (△30)
男 3,233人 (△25)
女 3,393人 (△5)
世帯数 1,753戸 (11)
55年5月1日現在
()は対前月比

国民年金の特別納付 今月で締め切りです

最後のチャンス



あなたの年金権は大丈夫ですか
国民年金の特例納付は、加入しなければならぬのに加入していない人や保険料を納め忘れていたために年金が受けられなくなっている人のために、特別に過去の未納保険料が納められ、将来年金が受けられるという制度です。
もう一度、納め忘れた保険料がないか確かめて下さい。
くわしくは、最寄りの社会保険事務所または市町村役場におたずねください。

町社会福祉協議会だより

◎御寄付御礼

昭和五十五年四月十五日より五月十八日の間に香典返し御寄付を賜り謹んで亡くなられた方々の御冥福と御家族の御繁栄をお祈りいたしますとともに町社会福祉向上にお役立たせていただきます。
ここに紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。

▽福瀬の谷口幸広さんから
(ウメノさん七一才ご死去)
▽仲深の矢野ソノエさんから
(春吉さん七一才ご死去)

◎心配ごと相談案内

町社協では町民誰れでも、どんな問題でも気軽に相談できる心配ごと相談所を開設いたします。
開設日 六月十七日(火曜日)
時間 午前九時〜午後三時
場所 町老人福祉館

戸籍だより

3月分

出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	住所
寺原昌伸	佳宏	羽坪坂
山崎広徳	時男	坪谷
橋口真奈美	啓二	寺迫
植野文恵	繁	寺迫
山田誠	豊	羽坪坂
川越真子	昇	福瀬
直野祐樹	雄二	福瀬
池田久美子	平美	迫野内
鈴木美香	傳一	小野田
金丸リエ	保男	福瀬
海野真理子	和夫	寺迫
川野みどり	多賀男	羽坪坂

〓冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
三浦サン	88	仲深

結婚おめでとう

氏名	住所
甲斐元吉	羽坪坂
今村クマ	鶴野内
黒木フイノ	迫野内
渦尾和三郎	鶴野内
岡田伊勢松	福瀬
河野トク	越表
甲斐重光	日向市
黒木ヨシ子	八重原
中谷清敏	仲野内
佐藤清子	迫野内
塩田時勝	小野田
丸田千代	愛知県
永田千代	坪谷
永田千代	坪谷
橋口郁夫	仲深
橋口郁夫	仲深
寺口郁夫	坪谷
酒井郁夫	坪谷
小藤敏子	小野田
小藤敏子	小野田
小藤敏子	小野田
那田フク	日向市